

* 勉強会のゴール設定 *

『エネルギー』という価値観を採用して、『エネルギー』というプラスリターンを生み出す色眼鏡(ストーリー)をかけることによって、自分自身でブレイクスルーを起こす起点を作り出せるようになる。なお、この『エネルギー』という色眼鏡以外にもっとプラスリターンの色眼鏡を持っているなら、採用しなくてもいい。

【前提】 盲点と作話

盲点の定義：盲点（もうてん、英: Blind spot, Scotoma）とは、**脊椎動物の目**の構造上、生理的に存在する**暗点**（見えない部分）の一つ。生理的な暗点なので**生理的暗点**とも言う。また**フランスの物理学者エドム・マリオット**により発見されたため、**マリオット暗点**（マリオット盲点、マリオット盲斑）とも言う。

作話の定義：作話（さくわ）は、**記憶障害**の一種である。過去の出来事・事情・現在の状況についての誤った記憶に基づく発言や行動が認められる点が特徴的である。作話は、「正直な嘘」と呼ぶべきものであり、通常は本人は騙すつもりは全く無く、自分の情報が誤りであるとは気がついていないので、この点で**嘘**とは区別される。

【盲点のワーク】

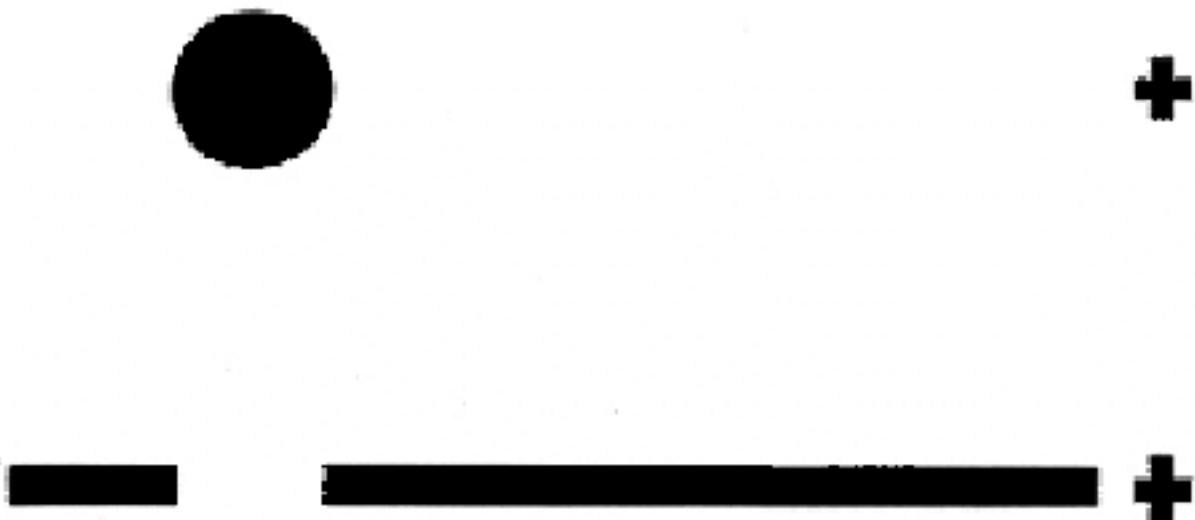
まず右目をつぶる

そして、左目で図の右上の+（十字）を見る

最後に、その状態のままスマホに顔を近づけていってください。

ちょうど拳一個ぶんくらいまで顔を画面に近づけてみてください。

（ディスプレイのサイズによって顔を近づける距離は変わります。）



Point：思い込みによって物事の本質的な部分がわからなくなることがある

ex、権威性の罠

パイロットの異変

引用：優秀であることの危険性は、自分で自分の判断が最も的確だと思うときに危険が起こったりします。このリーダーがとされるのがパイロットである場合、生死にかかわる重大な意味を帯びてきます。1982年フロリダ航空90便がワシントンDC近郊で氷の張ったポトックス川に墜落する直前のブラックボックスの記録を下の映像で確認できる。

https://www.youtube.com/watch?time_continue=62&v=Ww-NHTsIuMY

【① 機長症候群】

リーダーの言うことに押し切られて議論や反論を止めてしまい、好ましくない結果を招いてしまうこと。飛行機の機長が間違った判断をしたにもかかわらず、それをサポートする副操縦士らが機長の誤った考えを翻意させることができず、結果として墜落事故にいたってしまったというケースからこの名がついた。機長症候群が起こる理由としては、1つには、強制力が働くためにリーダーの言うことに従わざるを得ないことがある。これは必ずしも機長症候群の最も重要な問題ではない。より重要なポイントは、リーダーが優秀な場合、往々にして、フォロワーが自律的に考えたり、リーダーと議論することをしなくなり、結果として、盲目的にリーダーに追従した形になってしまいがちなことである。正当で博識な権威者であるはずのリーダーに盲従してしまう悲劇はどんな世界でも起こる。この問題は医療業界でも確認されている。

→この思い込みとは？

【② 看護婦の服従実験】

看護婦の服従実験で、心理学の研究者であるチャールズ・ホフリングの調査によれば、ナース・ステーションに病院の医師だと伝え、特定の患者にアストロゲン薬剤を20ミリグラム投与するように電話で指示したところ、95%のケースで、看護婦はただちに薬品戸棚からこの薬を取り出し病室に向かおうとしたと報告が上がっている。しかも、通常の日分の処方量の2倍に相当し、この薬剤自体が病院での使用が未許可であったのである。すなわち、スタッフが揃っている医療チームでは知的専門家集団が最善の判断をなすべく協働していると考えがちだが、よく調査してみると役割を果たしているのはそのなかの一人だけだと証明されている。

→この思い込みとは？

Point：思い込みとは文脈(ストーリー)によってつくられる

【人種差別というストーリー形成】

「明日からユダヤ人を殺しまくれ！」と言われてもできない

- 1.ユダヤ人は身分証明書をもちなさい
- 2.ここに住みなさい
- 3.この服を着なさい
- 4.ガス室に行きなさい

最終的に殺されると分かっているにもかかわらずそのままガス室に行ってしまう。
しかも、周りの人たちはそれを助けてくれることもない。

【民族文化的なストーリー形成】

- ・村の長老のセックス

【宗教的なストーリー形成】

- ・免罪符を買えば天国にいける

cf. カトリック教会が善行（献金など）を代償として信徒に与えた一時的罪に対する罰の免除証書。中世末期、教会の財源増収のため乱発された。

→なぜ免罪符を買えば天国に行けると思ってしまうのか？

- ・伊勢神宮の鳥居を潜りたがる

→なぜ潜りたがるのか？

- ・お米を残ることに罪悪感を感じる

→なぜお米を残せないのか？



【恋愛というストーリー形成】

偶然の出来事と偶然の出来事を結びつける背景には我々の思い込みがある
ex、ドラマ・映画のストーリー（図書館で異性が同時に本を取る）

【ビジネス的なストーリー形成】

これを買ったら幸せになるというストーリーを売られているし、こちら側もそのストーリーを売っている。

- ・難関試験に受ければ幸せになる？
- ・ダイエットに成功すれば幸せになる？
- ・お金を稼げればモテる？
- ・カッコいい車にのるとモテる？
- ・いい会社名のほうがモテる？
- ・学歴でモテる？

実際にそういう側面もあるけど、実際にそれだけが原因

Point：つまり、ストーリーという色眼鏡によって情報を分別している

色眼鏡とは、物事を見る時のフィルターのようなもの
→オレンジ色の色眼鏡で見ると全てがオレンジ色に見える

ex、

ストーリーという色眼鏡

医者正しいという色眼鏡

ナチス正しいという色眼鏡

ex、引き寄せの法則

棚からぼた餅というわけではなく、
どこに棚に餅があるのかを無意識でみるようになる。
つまり、本来的に目の前にあったものが分かるようになる。

これまでそういうことを意識していないと、自分がどういった色眼鏡で物事をみていてのか？という事に気づくことができない。

つまり、盲点になっている部分。本来的には見えてるものを他人には見えているのち自分には見えないパターンもあれば、本来的にフォーカスを当てなくてもいい情報に対して偏った見方をしてしまう、などのことが起こる。

『一発逆転』というマイナスリターンの色眼鏡を持っていたらビジネスはうまくいかない。

便器が詰まっているのに水を流したら、どうなるのか？
→うんこが溢れる

色眼鏡を変えてないと、うんこびたしのクソまみれになる。

つまり、順番を間違えると死ぬ。最初にやるべきのはマイナスリターンを生み出す価値観のデトックス。

Point：人間は自分にとって都合のいいような記憶を捏造する。

・時間がない

→こうやっていう人は本当に時間がないのか？

・親がダメだというから！

→本当にそれは本当に理由なのか？

・俺は悪くない！相手の責任だ！環境のせいだ！

→本当にそれは本当なのか？

・ビジネスはテクニックを学べはいける！

→本当にそうなのか？

人間は『大量言訳製造マシン』である。

なぜなら、考えることにエネルギーを使うから。

エネルギーが枯渇していると現実を固定したくなる。

白黒はっきりしたものを求めたくなる。

そして、即効性のあるものを追いたくなる。

（生物としては合理的な働き）

つまり、今回の話は意識的に本能の逆を選んでいくために必要な知識であるということ。

～ 具体例 ～

・N党の演説

https://www.youtube.com/watch?v=iRi4od_Thus

・青汁王子の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=M1hc2bY4Hl4>

バカには綺麗ごと、賢者には正直

バカは見抜けないが、賢者は見抜く

大衆は綺麗ごとに流され、

賢者は真実、実益を元に動く。

Point：色眼鏡には良い、悪いは存在しないけど、目的設定、ゴール設定にとって必要な色眼鏡は存在している

ポケモンだったら、仲間は常に強いポケモンをする。

ex,松下幸之助が推奨した色眼鏡

<https://lrandcom.com/luck/>

→ビジネスをする際に松下幸之助が必要だと思っていた

つまり、偉人の格言とは世界を見る時にプラスリターンを生み出す色眼鏡のことである。こういった価値観を採用していったら最強になると思いませんか？

でも、自分の価値観＝アイデンティティ、自分自身になっているから、人は捨てられない。

→ホメオスタシス、コンフォートゾーン

そもそもその価値観って誰に埋め込まれたもの？

自分の価値観＝自分の環境における情報によってつくられたもの

ex.自分の構成成分とは？

今食べたご飯で細胞が作られていく。体を良くしようと思ったら入れるものを変えたほうがいい。最初に口に入った水分が全て体外に出ていくまでにかかる期間は、約1ヶ月と考えられており、約1ヶ月後から徐々に体内の水が出ていくわけで、完全に水が入れ替わるまでには、約半年はかかると言われている。

ということは自分にとって必要な情報という食べ物を選別していったほうがいい。

cf、動的平衡

入ってくる分子と出て行く分子が同じ。

実際にあなたがいるのではなく、ただただ淀みや流れ
個体があるのではなく、川に流れる水のようなものである。

Point：マイナスリターンの思い込みには気づけない

僕たちは集団催眠を受けているようなもので、いままでのストーリーの中でこびりついた色眼鏡（価値観）を捨てることは難しい。意識的にやっつけていかなければほぼ無理なレベル。

しかも、本人にとってはそれがあたかも本当のことのように感じられている。正直に、素直になってもその人から出てくるのは嘘のパターンが多い。

Point：それではブレイクスルーとはなんなのか？

では、ブレイクスルーを起こすとはどういうことなのか？

現状の延長線上で物事を考えないこと。

現状の外の目標を立ててダイナミックに勇気を持って行動すること。